

表 令和8年3月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等	概要
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第18～28号	2日、6日、9日、13日、16日、20日、23日、25日、26日、27日、30日 16時00分 15時00分 16時00分 南岳山頂火口で噴火活動継続。ごく小規模噴火、噴煙、火映の状況。爆発なし。昭和火口では噴火及び火映はない。火山性地震は概ね少ないが8日と14～15日、20日、23日はやや多い。火山性微動は断続的。火山ガス(二酸化硫黄)放出量は1300[t/日](3/3)でやや多い。24日23時頃から山体膨張を示すわずかな地殻変動を観測。25日21時頃から収縮に転じ、26日06時頃までに概ね解消。GNSS観測で、始良カルデラ(鹿児島湾奥部)を挟む基線で地下深部の膨張を示す長期の緩やかな伸びがみられる。始良カルデラ深部にマグマが蓄積した状態、火山ガスも概ね多いことから、今後も噴火活動が継続すると考えられ、今後の火山情報に注意。
雌阿寒岳	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第10～17号	2日、6日、8日、9日、13日、15日、20日、27日 11時00分 16時00分 09時35分 17時00分 16時00分 14時00分 16時00分 16時00分 1日、6日、13日に火山性微動が発生し、火口近傍の傾斜計で、わずかな傾斜変動を観測。1日の微動後に一時的に火山性地震が増加し、その後は少ない。8日09時15分頃に噴火が発生し16時頃に停止。15日昼頃、雪面に火山灰と考えられる黒色の付着物を監視カメラで確認、11日から15日にかけてごく小規模な噴火が発生した可能性。火山ガス(二酸化硫黄)の放出量は、300[t/日](9日)、前回と同程度。ボンマチネシリ火口付近では、9月12日からの火口方向が上がる傾斜変動が緩やかに継続。浅部は引き続き膨張した状態と考えられる。ボンマチネシリ火口付近の火山性地震は12月以降、概ね少ない中で増減を繰り返している。
岩手山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第10～13号	6日、13日、20日、27日 16時00分 6日の上空からの観測(陸上自衛隊協力)で、黒倉山・姥倉山鞍部の地熱域はわずかに拡大している可能性がある。黒倉山付近の微小な火山性地震は少ない。東岩手山のやや深部の開口割れ目の膨張を示す地殻変動は1月から一時停滞していたが、2月頃から緩やかに再開。2024年8月頃からの大地獄谷付近ごく浅部の膨張の地殻変動は継続の可能性がある。引き続き、西岩手山(大地獄谷・黒倉山から姥倉山)の想定火口から概ね2km範囲に影響する噴火の可能性がある。
草津白根山 (白根山(湯釜 付近))	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第33～46号	1日、2日、4日、6日、9日、11日、13日、16日、18日、20日、23日、25日、27日、30日 16時00分 火山性地震は日回数が0～3回で継続。地下浅部の膨張を示す緩やかな地殻変動や地下の温度上昇を示唆する全磁力の変化は、鈍化しながらも継続。また噴気の化学成分比には活発化を示す変化が継続。火山活動が高まった状態が継続し、湯釜火口から概ね1km範囲に影響する噴火の可能性がある。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第18～26号	2日、6日、9日、13日、16日、20日、23日、27日、30日 16時00分 火山性地震は、2024年4月中旬以降増加した状態から、2025年7月頃から減少傾向がみられる。山体西側での膨張と考えられる傾斜変動は2024年5月以降停滞。火山ガス(二酸化硫黄)放出量は90～100[t/日](3/2, 12, 16)、2023年3月以前に比べ多いが、2025年6月頃から次第に減少。山頂火口から概ね2km範囲に影響する噴火の可能性がある。

令和8年3月 地震・火山月報（防災編）

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
焼岳	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第21号	2日 16時00分	地震回数は少なくなっている。 2月24日の上空からの観測（岐阜県協力）で山頂付近の噴気等に特段の変化なし。 GNSS観測では山頂付近で緩やかな膨張と考えられる長期的な変化が継続。 想定火口域から概ね1km範囲に影響する噴火の可能性あり。
		噴火予報	4日 14時00分	火山性地震は少ない状況が続き、火山活動による傾斜変動も認められない。 火山活動は低下し、想定火口域から概ね1km範囲に影響する噴火の可能性は低下。
	噴火予報 (噴火警戒レベル1、 活火山であることに留意)	解説情報 第22号	4日 14時10分	山頂付近で微小な火山性地震が1月25日から増加し、山頂方向上がりのわずかな傾斜変動が観測された。その後、火山性地震は少ない状況が続き、火山活動による傾斜変動も認められない。山頂付近の噴気の状況に特段の変化はない。想定火口域から概ね1kmの範囲に影響する噴火の可能性は低くなったと判断。 GNSS観測で、山頂付近での緩やかな膨張と考えられる長期的な変化が継続。山頂付近の微小な地震活動は継続し、周辺では数年おきに活発な地震活動がみられ、中長期的に焼岳の火山活動は高まってきているので、今後の活動の推移に注意。
霧島山 (新燃岳)	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第10～13号	6日、13日、20日、27日 16時00分	9月8日以降噴火はない。火口直下の火山性地震は増減を繰り返しており、9日から14日にかけてやや増加。2月28日から3月5日まで振幅の小さな火山性微動が継続。 GNSS観測で霧島山を挟む一部の基線で、2025年3月頃から深部の膨張を示すわずかな伸びが認められたが12月中旬頃から停滞。新燃岳付近の膨張を示すと考えられる基線の伸びは7月以降認められない。 火山活動が高まった状態が継続。引き続き噴火の可能性がある。
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第10～13号	6日、13日、20日、27日 16時00分	白色の噴煙と夜間に高感度カメラで火映を観測。火山性地震は少ない。 長期的に熱活動や噴煙活動が高まった状態。火口周辺に影響する噴火の可能性あり。
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第10～13号	6日、13日、20日、27日 16時00分	御岳火口で噴火活動継続。噴火、爆発なし、噴煙、火映の状況。集落で鳴動あり（村役場出張所による）。 火山性地震は、少ない状態で経過。火山性微動は断続的に発生。 GNSSで2024年10月以降みられた島の西側のマグマ蓄積量増加を示す変動は、11月から停滞。 長期に噴火活動が継続し御岳火口周辺で大きな噴石飛散の可能性ある。

注1) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注2) 雌阿寒岳、岩手山、草津白根山(白根山(湯釜付近))、浅間山、焼岳、霧島山(新燃岳)、桜島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島においては、噴火警報を発表している間、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報(定時)を発表している。焼岳では4日11時で終了した。